

Vol. 25

〈発行日〉  
令和4年1月1日

# 松下ゆきよし

# 県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉 連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135 TEL (089) 969-3605



新年おめでとうござい  
います。  
今年もよろしくお願  
いします。

県美術館入口の南面に展示された米山の幟

昨年を振り返りますと、まさにコロナウイルス  
対策一色の二年でした。第5波では今までにな  
い勢いで感染者が増加、医療体制のひっ迫が続  
く時期もありました。こういった時、私たちの心  
を支えてくれたものは、東京オリ・パラ2021  
で活躍した日本選手たちの姿であり、美術や演  
劇、音楽の観賞もその二つだったでしょう。スポー  
ツや芸術が、私たちの心を支える大切なもの  
だったことを再認識した二年でもありました。

新春号の表紙は、幕末から明治にかけて活躍  
した愛媛の神官、三輪田米山の書で染められた  
幟です。昨年は米山生誕200年。県立美術館  
や坂の上の雲ミュージアムで企画展が催され、改  
めて豪放で自由な米山の「書」と人物に光が当  
てられました。幟は古い幟から写しとって染め  
直したのもや、石碑に刻まれた米山の文字を写  
しとって染めたものもあると聞きました。伊予  
の人々は、時代を越えて米山を愛してきたこと  
が分かります。それは正岡子規が育ち、子規に  
続く虚子や碧梧桐など多くの歌人、俳人を生  
み出した愛媛の土地柄でしょうか。  
今年の干支は、「壬寅」。「新しく立ち上がる  
こと」を意味する縁起の良い干支です。今年こ  
そコロナ禍終息の年であつてもらいたいと願わず  
にはおれません。

元日の 雪降る城の 景色かな

河東碧梧桐

# 愛媛県議会定例会（令和3年12月）の概要

第377回定例県議会が、11月26日から12月14日までの19日間の会期で開催されました。今議会では、情報通信技術（ICT）・ペーパーレス化の一環として初めて議場で公用パソコンを使用しました。なお、県人事委員勧告を受け、職員の期末手当の年間支給率を引き下げる条例改正

案の審議を26日に先行して行い、本会議で原案可決しました。また、コロナ対策の追加補正予算（33億9,149万円）が最終日に追加上程され、これらを経て可決されました。

可決された議案は19件。内訳は条例改正4、補正予算5、その他9、決議1です。また、継続審査となっていた令和2年度決算4件を認定。自動車交通事故による損害賠償額を決定した専決処分報告（2件）がありました。議決された議案の詳細は次のとおりです。

なお、核兵器禁止条約の署名・批准を政府に求める請願など5件の請願を不採択としました。

## 1 補正予算

補正予算は、最終日に追加上程された分も合わせて一般会計63億7、

753万円の増額と、企業会計（3会計合わせて）2億439万円の減額補正です。県人事委員会勧告に基づく職員と特別職の給与改定による14億7、822万円の減額予算を盛

り込んでいます。新型コロナウイルス関連予算は、累計2,078億円となりました。詳細を表1、2にまとめました。

12月定例議会の議場に持ち込まれた公用パソコン



【表1】12月補正予算の概要

新型コロナウイルス感染症への対応 【この冬を乗り越えるための応援策】	41億4,870万円
(1) 人流回復に向けた事業者等への支援	27億2,868万円
◎ 繁華街・歓楽街の安全対策のための機器整備	1,374万円
◎ 輸送収入の減少した公共交通事業者への運行継続に対する支援	5億4,410万円
◎ 本県のデジタル技術の実装に向けた高速無線通信網の電波環境調査	330万円
など	
(2) 医療提供体制等の充実	14億2,002万円
重点医療機関における感染症患者の受入病床の追加確保	9億8,157万円
◎ 私立学校が行う感染防止対策等への支援	2億4,099万円
など	
新型コロナウイルス感染症関係の追加予算	33億9,149万円
3回目のワクチン接種を行う医療機関に対する支援（延長分：12/1～3/31）	5億2,918万円
◎ ワクチン・検査パッケージ制度利用等のための無料検査体制の整備	28億6,231万円
えひめの産業の振興と教育環境の充実	1億 1,118万円
豚熱の予防的ワクチンの接種を継続実施するための体制整備	2,988万円
食品産業の輸出促進に向けた機器整備等への支援	2,447万円
試験研究機関での研究開発の促進等に資する機器整備	4,632万円
◎ 聴覚障がい児の教育相談に対応するための機器整備	260万円
障がいの状態等に応じた学習環境の充実を図るための機器整備	791万円

◎は新規施策分

## 2 条例

4件の条例改正のうち主なものは、次のとおりです。

◆県人事委員会勧告に基づく県職員  
員の給与に関する条例の一部改正

◆えひめこどもの城管理条例及び愛媛  
県体験型環境学習センター管理  
条例の一部改正

「とべもり」エリアでの一体的な利用  
促進を図るため、えひめこどもの城の  
閉館日をとべ動物園と同じ月曜日に  
合わせました。

## 3 決議

愛媛県議会は、北朝鮮による日本  
人拉致問題に対する理解を深めるた  
めの取組を推進することを決議しま  
した。

## 4 その他

①令和4年度の宝くじの発売限度額  
(1331億8,100万円)の決定  
②中予地方局管内の県営住宅の管理  
者の指定

【表2】12月補正予算 給与改定経費

1 一般職 ▲14億7,177万円  
(一般会計▲12億6,750万円 企業会計▲2億427万円)

区分	職員数	予算額
一般会計	2万1,485人	▲12億6,750万円
一般職員	4,232人	▲2億7,095万円
警察職員	2,889人	▲1億8,144万円
学校職員	1万1,773人	▲8億250万円
会計年度任用職員	2,591人	▲1,261万円
企業会計	2,734人	▲2億427万円
一般職員	2,068人	▲1億9,410万円
会計年度任用職員	666人	▲1,017万円

2 特別職 ▲645万円(一般会計▲633万円、企業会計▲12万円)

③ 地方独立行政法人法の規定に基づ  
き愛媛県立医療技術大学の中期目  
標について  
④ 土木建設事業の地元負担額の変更  
(2件)  
⑤ 県道岩城弓削線岩城橋工事など3  
件の工事請負契約の変更  
⑥ 専決処分した県道松山伊予線改修  
工事の境界確定請求控訴事件に係  
る判決に対する上告受理の申立て  
について承認

## 進む愛媛県議会のICT

愛媛県議会でICT化が進  
んでいます。9月の議会改革検  
討協議会でICT化に向けた  
取り組みについて話し合われ、  
中畑議長に方向を答申。表3の  
とおりペーパーレス化のスケジュ  
ールが決まりました。

以前から、公用パソコンの活用  
やペーパーレス化について検討して  
いましたが、「紙」から離れるこ  
とができませんでした。ここに  
きて一気に進みそうです。遅く  
とも令和5年度中には委員会  
でもペーパーレスとなります。今  
回の定例県議会では、スケジュ  
ール通り質問要旨など議場内に  
配布する印刷物は各議員の公  
用パソコンに送られ、全議員が議  
場にパソコンを持ち込みました。  
また、議員一人に1台限定です  
が個人のパソコンなどを議会の  
WiFiへ接続することが認め  
られ、私も利用しています。  
愛媛県議会は、ICT、DX  
と最も遠いところにいると思っ  
ていましたが、時代の要請でしょ  
うか。

【表3】議案等のペーパーレス化に向けたスケジュール

年度 実施内容	R3 ~R3.9	R3.12	R4 ~ R5
議会改革検討 協議会	★ペーパーレス化の方針を 協議・決定 本会議や委員会での議案 PPL 化の試行や本格実施の方法等を検討	★ハード・ソフトの方針決定 ハードの見直しの検討(機種、利用方法含む)	ソフト(会議システム)検討(運営方法含む)
本会議			パソコン持込・議場内配布物は電子のみ
常任委員会			・議案のペーパーレス化試行 【常任委員会】議案は紙をベースに適宜電子の試用
特別委員会			【4特別委員会】電子の試用



伊方町役場前の広場に設けられた会場で、NTTデータ職員の説明を聞く（右端の後ろ姿）

10/5

愛媛県原子力防災訓練を視察研修しました。伊方町役場前では、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構とNTTデータが開発したシステムで、飛行中の県消防ヘリコプターから周辺空域を飛行する複数のドローンに信号を飛ばし待避させ、衝突を回避する訓練を実際に見ることができました。



訓練で使ったドローン

11/14

愛媛サイクリングの日に合わせた砥部町の行事「陶街道スマイルサイクル2021」に参加。砥部町伝統産業会館をスタート、坪内家、衝上断層公園、梅山大登窯、村の駅と走りました。



オール砥部町口ケの映画「未来へのかたち」に登場する砥部焼の聖火台モニュメントの前で

11/30

県議会防衛議員連盟に海上自衛隊呉地方総監・園田海将の表敬訪問があり、同議連の事務局長として同席しました。



前列中央に園田直紀海将、後列右端に松下

12/3

県果樹農業振興議員連盟主催の「果樹を語る会」がありました。JAえひめ中央堀江果樹選果場で、紅まどんなの選果作業を視察後、会場を移して意見交換会に出席。同議連メンバー、県理事者、JA関係者が県内果樹選果施設の現状と今後の整備等について話し合いました。



JAえひめ中央堀江果樹選果場で

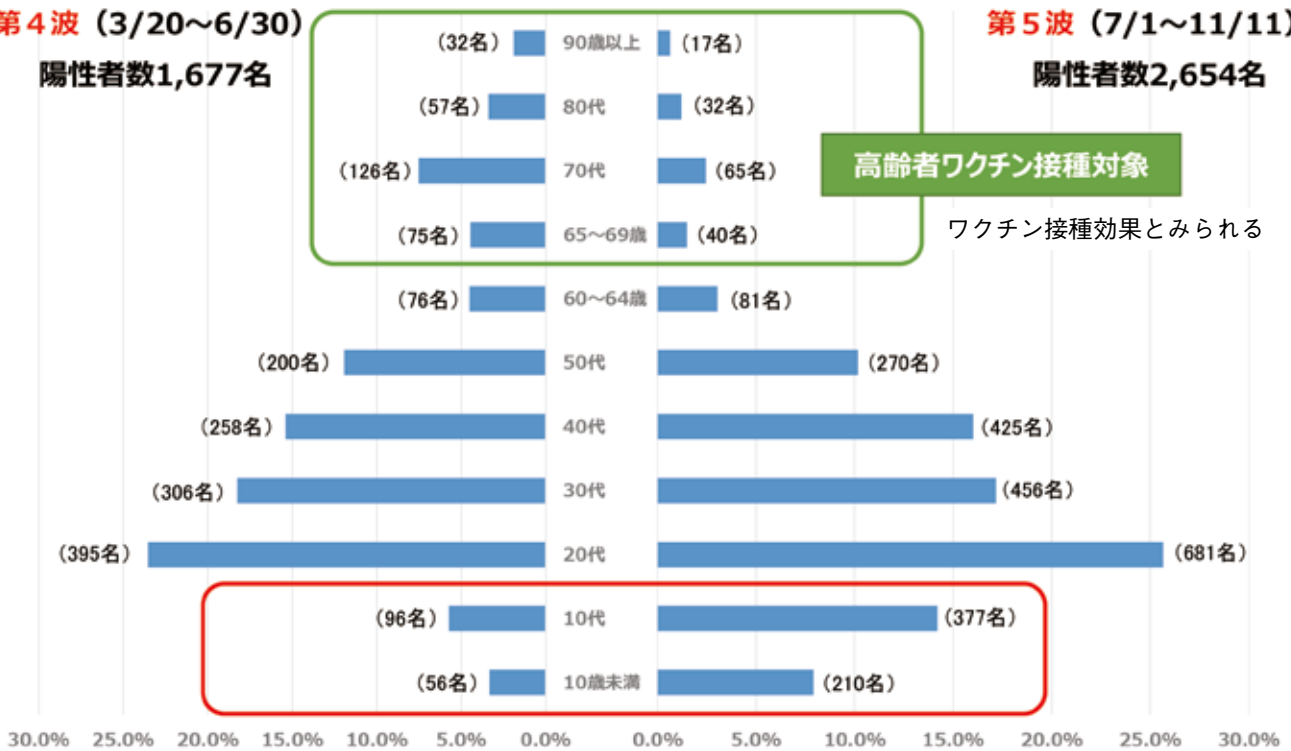
# 県内の新型コロナウイルス感染状況 第5波と第4波の陽性者年代比較

## 第4波 (3/20~6/30)

陽性者数1,677名

## 第5波 (7/1~11/11)

陽性者数2,654名



▼2021年2月のびわ湖毎日マラソンで日本選手初の2時間4分台となる2時間4分56秒をマークした鈴木健吾選手は、本県の宇和島東高校出身。あまり知られていませんが、宇和島市は、日本マラソン発祥の土地です。そのことを、愛媛経済ジャーナル客員論説委員の宮住氏が、2019年11月24日の日本経済新聞に発表しています▼記事によると、家臣の身上書「家中由緒書」に1759(宝暦9)年9月4日5代宇和島藩主・伊達村候が「遠走」の名で、宇和島城下から上畑地村まで18キロを走らせ、その二日後東多田番所(西予市)へ28キロを遠走した記録が残っているということです。また、8代伊達宗城の「藍山公紀」にも1854(安政元)年2月14日に榎谷番所(北宇和郡松野町)往復の47キロで、「健歩」を開いたとの記録があるとのこと▼日本のマラソン発祥地と言え、群馬県安中市が40年以上前から日本のマラソン発祥地として「安政遠足侍マラソン」を開催しています。上州・安中藩は、1855(安政2)年5月26日から鍛錬を目的に「遠足(56



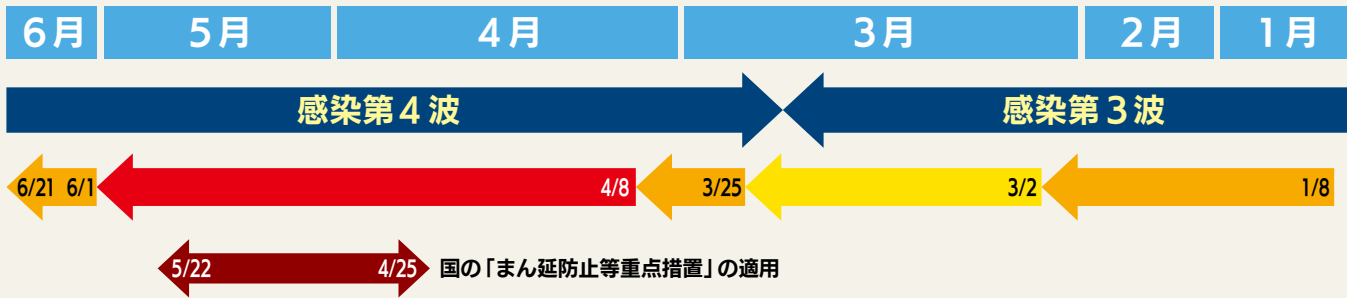
▼2021年2月のびわ湖毎日マラソンで日本選手初の2時間4分台となる2時間4分56秒をマークした鈴木健吾選手は、本県の宇和島東高校出身。あまり知られていませんが、宇和島市は、日本マラソン発祥の土地です。そのことを、愛媛経済ジャーナル客員論説委員の宮住氏が、2019年11月24日の日本経済新聞に発表しています▼記事によると、家臣の身上書「家中由緒書」に1759(宝暦9)年9月4日5代宇和島藩主・伊達村候が「遠走」の名で、宇和島城下から上畑地村まで18キロを走らせ、その二日後東多田番所(西予市)へ28キロを遠走した記録が残っているということです。また、8代伊達宗城の「藍山公紀」にも1854(安政元)年2月14日に榎谷番所(北宇和郡松野町)往復の47キロで、「健歩」を開いたとの記録があるとのこと▼日本のマラソン発祥地と言え、群馬県安中市が40年以上前から日本のマラソン発祥地として「安政遠足侍マラソン」を開催しています。上州・安中藩は、1855(安政2)年5月26日から鍛錬を目的に「遠足(56



砥部町の駅伝大会 (2016年1月)

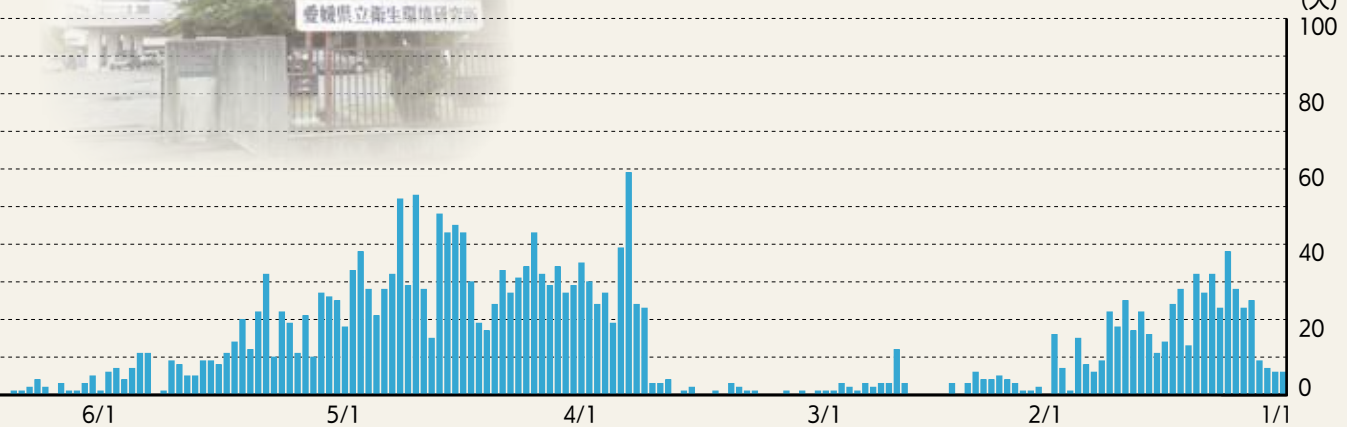
キロ)を始めたようですが、宮住氏は、宗城の「健歩」から1年遅れて安中藩が「遠足」を始めていることから、宗城が江戸城で「健歩」の自慢話をし、そのことを聞いた安中藩主が「遠足」を始めたのではないかと、連想させるような書きぶりをしていきます▼262年前にマラソンをした史実は、宇和島市だけでなく愛媛県の誇りです。また、鈴木選手は、東京五輪女子マラソン8位入賞の一山麻緒(いちやまお)選手と結婚して、話題になっています。夫婦で、えひめマラソンを走る企画はないのでしょうか。

# 感染の経緯と対策



- 首都圏を中心に全国的に感染が急拡大。1月7日全国で一日7,569人の感染者
- 1月8日 国が「緊急事態宣言」を発令(3月下旬まで続く)
- 1月下旬 県内の一日に当たり感染者一桁に減る。全国では、増加傾向が続く。
- 2月に入っても県内の感染者は、低い水準で推移
- 2月8日から県民限定の県内宿泊旅行の割引を追加発行。「Go To イート」券の新規販売を再開。地域の消費回復を目指す。
- 3月22日 松山市内の繁華街で、巨大クラスター確認。県内感染第4波の引き金となる。
- 3月26日 **令和2年度 補正予算(専決) 20億1,500円**  
感染症の影響により収入が減少した世帯の資金需要に対応するため、貸付金(生活福祉資金)の原資を県社会福祉協議会に補助
- 4月7日 全国で一日のコロナ感染者が3千人を超える。関西圏を中心に変異株(アルファ株)が急速に拡大してくる。
- 4月12日 全国で65歳以上の高齢者のワクチン接種が始まる。
- 4月30日 (可決) **令和3年度 補正予算(臨時議会) 48億4,170万円**  
売上の減少した事業者に対する支援「えひめ版応援金」など、事業継続・生活維持支援。ワクチン接種と医療・検査体制の充実強化
- 大型連休の影響もあり、5月下旬まで県内の感染者一日20人前後発生。医療のひっ迫が続く。
- 5月27日 **令和3年度 補正予算(専決) 11億5,012万円**  
高齢者のワクチン接種7月末完了を見据えて、医療従事者への支援。営業時間短縮に依じる飲食店への協力金など
- 6月始めから県内の感染状況は落ち着いてくる。社会経済活動を徐々に再開する。
- 6月下旬 県内医療従事者等のワクチン2回接種が完了。職域接種がはじまる。

県内1日当たりコロナ陽性者数の推移 (人)





凡例	(低い)	県独自の警戒レベル			(高い)
	←	←	←	←	
	←	←	←	←	
	←	←	←	←	

9/12 8/20 国の「まん延防止等重点措置」の適用

**7月7日(可決) 6月定例県議会 補正予算**

コロナ対策分  
52億 19億  
64万円 299万円

- 7月12日 東京に4回目の緊急事態宣言が発令される。
- 7月中旬に松山市内で開催された音楽ライブで、デルタ株によるクラスターが発生。県内では初めてのデルタ株クラスター
- 7月末 全国の65歳以上の高齢者の74.5パーセントがワクチン2回目接種を済ませる。
- 7月末 全国で一日1万人を超える感染者がでる。デルタ株が拡大してくる。

- 8月19日 県内で一日の感染者が百人を超える。県内の感染第5波のピーク
- 8月20日 全国で一日2万5千人を超える感染者がでる。

**8月23日 令和3年度 補正予算(専決) 5億3,966万円**

売上の減少した事業者に対する支援「えひめ版応援金」など、事業継続・生活維持支援。ワクチン接種と医療・検査体制の充実強化

- 9月6日 県内12歳以上(65歳以上含む)のワクチン2回接種、5割を超える。

**10月6日(可決) 9月定例県議会 補正予算**

コロナ対策分  
126億5,116万円  
20億5,981万円

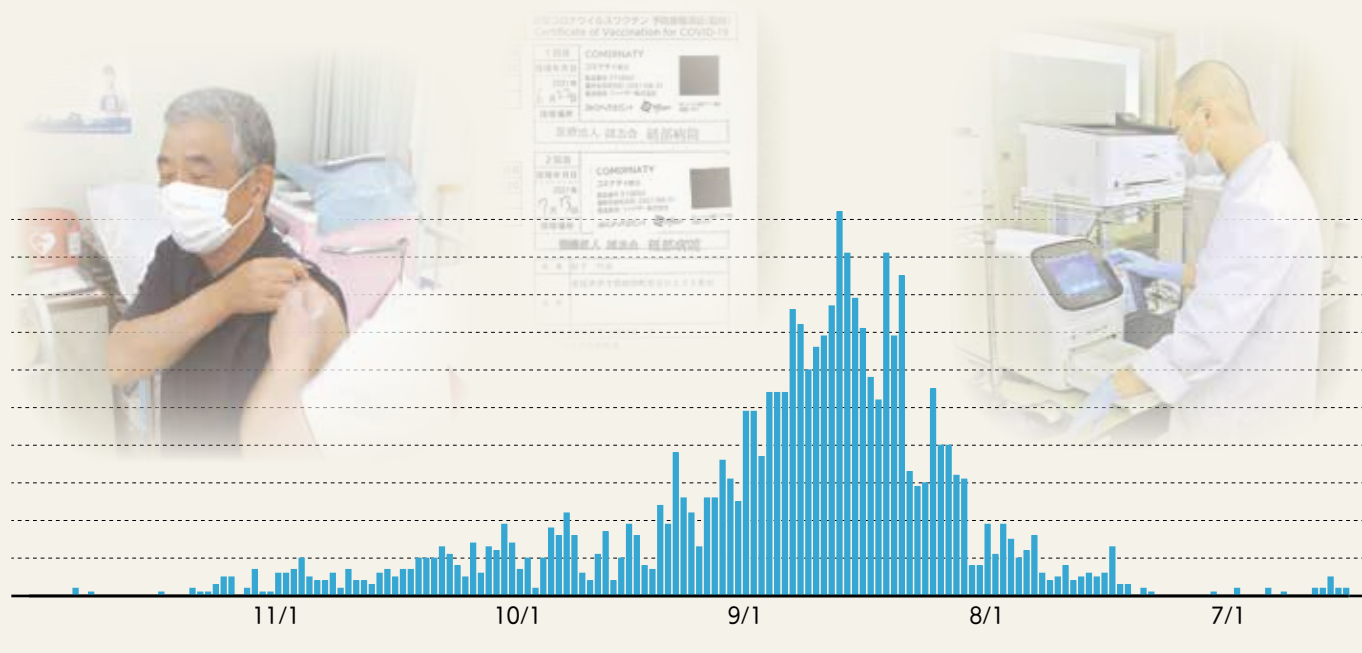
- 11月上旬 3回目接種用ワクチン(ファイザー社)が県内の市町に配布される。
- 11月26日 WHOが南アフリカなどで確認された新変異株を、最も警戒レベルの高い変異株に指定し「オミクロン」と命名する。
- 11月末 国は、オミクロン株対策として外国人の入国禁止措置(1か月)に踏み切る。
- 11月末 「GOTO イート」 終了

- 12月上旬 全国で医療関係者等へのワクチン第3回接種が始まる。

**12月14日(可決) 12月定例県議会 補正予算**

コロナ対策分  
41億4,870万円  
33億9,149万円

コロナ対策追加の補正



私の本棚

# 晴走雨読

せいそううどく

## ひょうこ 瓢壺の夢

著者:高市 俊次 出版:新人物往来社

ここに紹介する「瓢壺の夢」は、松山市南久米にある日尾八幡神社の神官で、酒豪の書家として知られる三輪田米山(常貞)を主人公に、幕末から明治初期の伊予の国を描いた歴史小説です。

物語には米山の弟の高房や元網のほか堀内匡平、玉井春枝、矢野玄道、巢内式部、原田左之助など伊予の草莽の志士が登場します。彼らは自らの志に従って故郷を飛び出し、動乱の幕末を駆け抜けて行きます。米山も尊王の志から京にのぼりますが、政争に翻弄された末に弟の元網が首謀者となつて引き起こした「足利三代木像梟首事件」に連座して、松山に連れ戻され「禁足」の刑を受けます。大きく揺れ動く時代の中で、歴史に参画しようとした米山の夢はこうして潰えます。

故郷に帰つてからの米山は明治13(1880)年に隠居。愛媛県中予地方を中心に多くの揮毫を残します。酒が入らぬと良い書は書けぬと、二三升の酒を浴びるように飲み、倒れる寸前まで飲んでおもむろに筆を取るのが常であつたと伝えられています。逸話に事欠かなかつた米山ですが、著者が物語の中心に据えたのは、京にのぼるまでの米山と彼を囲む伊予の人々でした。

その中で私が注目する人物は、大洲城下阿蔵八幡の神主常盤井厳戈です。厳戈は米山が師と仰ぐ人物で、国学はもとより儒学、仏教にも精通し、蘭学にも興味を示す才能豊かな人物ですが、最後まで大洲を離れず、阿蔵の里で多くの人材を

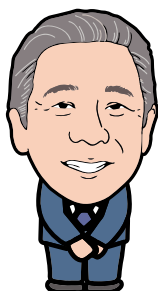


昭和62(1987)年に新人物往来社から刊行された「瓢壺の夢」

育てます。その中に富岡鉄斎の妻となる伊予藩士佐々木禎三の三女春子もいました。この物語では、春子の存在が後に米山日記が世に出るきっかけになっています。

余談ですが、著者の高市さんは米山と同じように父親の後を継いだ神官です。出版当時40歳前後。中央への夢を胸中に秘めていたのではないのでしょうか。酒量は別にして、著者と米山がグアツて見えました。

◎高市俊次／昭和23(1948)年生。砥部町麻生の三島神社宮司。元県立高校教諭。早稲田大学教育学部卒。昭和59(1984)年「花評者石山」で歴史文学賞受賞(新人物往来社主催)、平成28(2016)年「千年の墓標」で60歳以上の人の作品を対象にした第3回晩成文学賞受賞(平凡社主催)、令和元(2019)年「海ホオズキ」で第5回藤本義文学賞(藤本義の書齋)など主催の最優秀賞受賞。ペンネーム・三島麻緒として現在も執筆活動を行っている。



愛媛県議会議員

# 松下行吉

まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135

TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606

Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<http://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>